

いわて高等教育地域連携プラットフォーム ニュースレター



1 いわて高等教育地域連携プラットフォームの設立

このニュースレターは、産学官連携の関係者の方に配信しています。主として、プラットフォームの情報や関係団体の産学官連携の取組等を情報発信する予定です。

設立の経緯

プラットフォームは、人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化や情報化の進展など、県内の社会経済環境が変化する中で、地域に貢献する優れた人材を育成し地域に還元していくとともに、高等教育機関がもつ専門性や特色がより一層地域社会で生かされる地域づくりを進めていくため、高等教育機関、経済界・産業界、行政等が高等教育の果たす役割を恒常的に議論し、連携した取組を行っていくことを目的に令和3年6月9日に設置しました。



いわて高等教育地域連携プラットフォーム 設立会議の開催 (R3.6.9)

岩手大学小川代表から

プラットフォームの代表には、岩手大学の小川学長に就任いただいております。

小川代表からは、本プラットフォームの設立に当たり、構成する21 団体が当事者として情報を持ち寄り、データ等のエビデンスに基づき課題の共有を図りながら、リカレント教育や学び直しなどの人材育成を通じた産業の活性化と一人一人の職業人の学びを通じた wellbeing の実現を志向し、これまで解決できなかった課題を解決する組織として重要な役割を担っていくこと。



また、「高等教育人材の県内定着の促進」「産学官連携」「高等教育人材の育成」など、それぞれの課題を検討するためのワーキンググループの活動やリカレント教育の推進に向けた各種取組の実施など、議論を『熱く』重ね、本プラットフォームの内容充実を図り、今後の地域貢献と有意な人材育成に努め、『ないと困る組織』となるよう、今後も取組を着実に進めていくことを目指すと決意の言葉をいただきました。

プラットフォームの概念図

プラットフォームは右図のように、多様な構成団体により、これまでの既存の協議体と連携しながら、目指す姿に向かって、取組を進めています。これまでの取組状況は次ページをご覧ください。



2 プラットフォーム活動報告

プラットフォームでは、プラットフォームの方針や運営に係る意思決定を行う全体会議（年1回）、プラットフォームの推進に向けた方向性や目標の具体的な検討、地域の課題設定やその解決に向けた取組の企画立案を行う推進会議（年2回）、推進会議の下、個別の課題解決に向けて活動する3つのワーキンググループにより構成されています。令和4年度の各ワーキンググループの活動概要は以下のとおりです。

	産学官連携創造WG	高等教育人材県内定着促進WG	人材育成推進WG
事務局	岩手大学	岩手県商工会議所連合会	岩手県立大学
令和4年度の活動内容	<p>各機関の産学官連携の現状や課題について検証・課題を共有（内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究（者）情報や企業からの相談の共有、各大学、公設試験機関において産学官連携をコーディネートする人材が、高齢化等に伴い減少傾向であることを把握 ・産学官連携組織の成熟化等に伴い、組織の見直しを議論 ・オープンイノベーションを推進する情報交換の場やネットワークの見直しの必要性について共有 	<p>県内企業の人材育成ニーズや県内就職に対する課題の把握、これまでの県内就職率向上のための取組の情報収集や分析をアンケートと企業ヒアリングで実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象 2,078事業所（一般社団法人岩手経済同友会、岩手県内商工会、岩手県内商工会議所に加盟する企業等） ・回収数 430事業所（回収率20.7%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業界の人材育成ニーズに関するアンケート調査の分析結果について各界に情報共有。 ・高等教育機関における人材育成の参者に資するため、地域志向教育プログラムの事例を共有。 ・看護部会（仮称）の設置に向け、関係3大学看護学部において方向性を確認。

地域ニーズ対応リカレント教育推進事業について

令和5年度からは、各WGの活動と共に、リカレント教育の推進に取り組むこととしております。リカレント教育とは、学校教育から一旦離れた後、それぞれの人の必要なタイミングで学び直し、仕事と教育を繰り返しながら仕事で求められる能力を磨き続けていくことです。

県では、人材育成と若者定着を目的とした県民、企業向けの新たな試みとして、各大学等で所有する講師、カリキュラム、ノウハウなどのリソースを持ち寄り、産学官連携の「いわて高等教育地域連携プラットフォーム」により、地域ニーズに合致した、リカレント教育を推進していきます。今後、具体的なプログラムを作成していきますが、このニュースレターを通じて、リカレント教育の情報についても発信していきます。

3 産学官連携等の取組の紹介

第10回プラチナ大賞・経済産業大臣賞

「プラチナ大賞」とは、イノベーションによる新産業の創出やアイデアあふれる方策などにより社会や地域の課題を解決し、「プラチナ社会」の姿を体現している、または体現しようとしている全国の自治体や企業などの取り組みを賞という形で称えるもので、2013年から毎年1回開催しています。その「第10回プラチナ大賞」において、県・一関市・一関高専の連名で応募した「すり足ふらつきに着目した認知症予防・早期発見デバイス『D-walk』の開発について」がプラチナ大賞・経済産業大臣賞を受賞しましたので、ご紹介します。



【参考：<https://www.ichinoseki.ac.jp/news/gakuseijoho.html?id=2079>】



発行・問い合わせ先

活動記事の配信を希望される場合は、岩手県学事振興課までご連絡ください。

岩手県ふるさと振興部学事振興課（本号作成担当 佐倉）

電話：019-629-5045 E-Mail：AH0007@pref.iwate.jp

